

第3回糸魚川市地域公共交通協議会

【日時及び会場】

平成31年2月6日（水）13：30～15：00
糸魚川市民会館 3階 会議室

【出席委員】

藤田年明委員、桐木 勉委員、塚田二郎委員、渡辺郁子委員、猪又直登委員、丸山延弥委員、長井 聰委員、松縄 麗委員（代理出席）、小池文義委員、小林尚雄委員、矢島トミエ委員、平内芳美委員、古畠敏枝委員、斉藤ミチヨ委員、本間充佳委員、関谷 浩委員、野神直人委員、佐々木繁雄委員、池田正吾委員、北村雄一委員
以上20名

【会議の概要】

- 1 開会
・建設課長の進行で13：30開会
- 2 挨拶
・会長（糸魚川市副市長）による挨拶

〈会議成立報告〉

委員出席状況は、26名中、20名の出席。協議会規約第9条第2項に規定する過半数を超えているため、本会議の成立要件を満たしている旨を報告。

- 3 報告
・議事進行は建設課長
(1) 平成30年度 えちごときめき鉄道 新駅 詳細設計業務委託について
質問・意見なし。
- 4 議事
・議事進行は会長（糸魚川市副市長）

- (1) 路線バスの平成31年春 変更（案）等について
(質問・意見)

【3～6頁 ①今井線】

委員：自由乗降はバス利用者にとって便利なものだと考えている。路線全体で利用者が減っていても自由乗降を設定することで減少が抑制されていることが見えれば今後自由乗降区間を拡大していくうえでの根拠となりうる。警察は、交通について安全と円滑に焦点を当てて判断する立場にあるが、利用者の利便性が向上するのなら協力していきたいと思っているので情報提供をお願いしたい。

委員：前回の協議会で、八千川地区を運行するに当たっては道が狭いため除雪をしっかりと実施しなければならないという意見があったが、実際に運行して何か支障となるようなことはなかったか。

説明委員：今年は雪が少ないため、現時点で利用者や乗務員から支障があったとは聞いていない。

【17～21 頁 ④早川線】

委員：生活時間帯では、糸魚川総合病院で乗り継ぎすることになると思うが、現在の待合環境はどのようになっているか。

委員：糸魚川総合病院が開院している時間帯は院内で待つことが可能だが、土日、休日は外で待つことになるかと思う。外の待合所を増強する予定はあるか。

事務局：待合環境は当初から整備できればよいが、今回の再編によって、直通運行での要望の声が大きくなる可能性もあるため、この点や利用者ニーズを見極めたうえで待合環境についての計画を練っていきたい。

【22～27 頁 ⑤市街地巡回線】

委員：市街地巡回線の経路変更で、人口が密集している南押上地域を通行しなくなるが、利用者に影響しないか。

説明委員：今回のルート変更によって市街地巡回線は2箇所（南押上三丁目、二丁目）の停留所を経由しなくなるが、新設する中央大通り線や日中の西海線で補うことができるものと思っている。

【32～35 頁 ⑧中尾長者温泉線】

委員：新たな運行経路には保育園があるため、朝夕の送迎時などは道の譲り合いなどに十分注意する必要がある。また、Uターンする崩山の回りも拌み勾配で事故が多い箇所なので併せて注意する必要がある。能生中学校から県道へ出る交差点（JA前）が、複雑で曲がりにくいいため、事故の発生や子供にとって危険な箇所だと認識している。何かしらの対策をお願いしたい。

事務局：交差点については、本日、県や警察の方も来ているので、安全対策についてアドバイスを頂き、しっかりと取り組みたいと思う。

【36～43 頁 ⑩島道線】

委員：現在の東廻りの各バス停留所の運行本数はほぼ変わらないという認識でよいか。

説明委員：そのとおりである。

説明委員：バス運賃に関しては、経路地が増えて乗車距離が長くなっても乗車地、降車地が同じなら同一の料金とする。

【全体】

委員：変更する路線が多いため、しっかりと周知をしていただきたい。

(決議) 原案のとおり承認

(利用状況の調査および乗継拠点となる糸魚川総合病院の待合対策に留意することを集約事項とする。)

(2) その他

なし。

5 その他

●事務局からの報告・連絡事項5件

- (1) 地域公共交通活性化セミナーin上越（北陸信越運輸局 主催）について
- (2) 新潟県内高速バスでのICカード使用開始のおしらせ
- (3) 糸線利用促進 社会実験 定期券購入助成のお知らせ
- (4) 日本海ひすいライン青海駅無人化
- (5) JR大糸線 駅舎トイレの撤去

(質問・意見)

なし。

6 閉会

(15:00 終了)